

内製で抱えないほうがいい動画—— 高難度・高リスク制作の見極め

—— 制作会社のノウハウを、社員が再現できる運営の仕組みへ。

内製か外注かは、 難しさと影響で決める。

技術の難しさ

今の人員と機材で
再現できるか

失敗時の影響

人・事業・信用へ
どんな影響があるか

制作条件

納期・頻度・場所に
無理はないか

確認体制

公開可否を判断
できる人がいるか

できる範囲を確かめ、必要な専門性を上手に組み合わせましょう。

高難度と高リスクを、混同しない。

高難度

複雑な撮影、合成、多言語、大量の編集など

高リスク

安全、個人情報、権利、専門的表現、重大な誤解など

見た目が簡単な動画でも、内容や公開先によって慎重な確認が必要です。

制作の手間だけでなく、公開後の影響まで見て判断しましょう。

四つの選択肢で、制作範囲を考える。

内製する

再現でき、確認体制もある

一部を外注する

特定工程の技術や工数を補う

専門家と進める

安全や表現の確認を伴う

企画を変える

条件が整わず、別の伝え方がよい

無理に公開を急がず、目的を満たす別案も検討します。

選択肢を増やすと、**安全と品質**を守りやすくなります。

技術の難しさは、実作業へ分解する。

撮影

場所、動き、音、光、必要な機材

編集

素材量、合成、色、音、多言語

制作管理

出演調整、許可、確認回数

納品

媒体別の形式、データ量、納品日

工程ごとに、社内でできることと経験が不足することを記録します。

難しい部分が分かれば、**相談する範囲も明確**になります。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）



内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

安全を確保できない撮影は、立ち止まる。

事前に確認すること

- 現場の危険と立ち入り条件
- 作業や通行への影響
- 必要な許可と現場責任者
- 天候や中止の判断基準

危険を伴う作業の演出や撮影は、現場の安全担当者・専門業者と判断します。

安全な方法を選ぶことも、**良い企画をつくる力**です。

権利と個人情報 は、素材ごとに確認する。

出演者

公開範囲と確認方法

音源・画像

利用条件と出典の記録

撮影場所

許可と写り込みへの対応

社内資料

秘密情報や個人情報の有無

利用条件が不明な素材は使い始めず、確認できる素材へ置き換えます。

使える素材を先にそろえ、**安心して**制作を進めましょう。

専門的な内容には、専門の確認者を置く。

確認する内容

- 数値・仕様・条件の正確さ
- 効果や実績を示す根拠
- 誤解を招きやすい表現
- 必要な注記や公開条件

分野の規制や契約が関わる場合は、社内の専門部署や適切な専門家へ確認します。

制作の判断と内容の判断を分け、**信頼を守りましょう。**

短納期と大量制作は、負荷も含めて判断する。

計画本数

必要な工程と確認回数を数える

確保時間

通常業務と両立できるかを見る

待ち時間

承認や素材待ちを見込む

代替手段

外部応援・本数調整・公開順の変更

残業を前提にせず、品質を守れる制作量を合意します。

無理のない計画が、公開までの安定を支えます。

外注しても、社内の判断は残す。

社内で持つこと

- 目的と顧客理解
- 事実・根拠・素材条件
- 社内調整と確認窓口
- 最終的な公開判断
- 公開後の学び

制作を任せる範囲と、確認を引き受ける範囲を別々に決めます。

役割を明確にして、専門性が活きる協力関係へ。

相談時には、**懸念**も含めて条件を渡す。

目的と視聴者

想定する表現と公開先

制作範囲と納期

使える素材と確認済みの条件

安全・権利・表現の懸念

必要な確認者と判断期限

難しい条件ほど早めに共有し、実現できる方法**を探しましょう。**

公開前に、止める判断を共有しておく。

確認が終わっていない

権利や許可が不明なまま

重要な事実に疑義がある

安全や個人情報に懸念がある

合意した公開条件を満たさない

問題の担当者・確認方法・再判断日を決めて、公開を保留します。

止める基準があるからこそ、**安心して**前へ進めます。

工程を分ければ、内製と専門性を両立できる。

モデルケース

- 社内 | 目的・現場調整・事実確認を担当
- 外部 | 難しい撮影と仕上げを担当
- 共同 | 台本・品質・公開条件を確認

実績や効果保証ではなく、分担の整理例です。必要な専門確認は別途確保します。

自社の強みを残しながら、**難しい工程を補いましょう。**

一度の分担を、固定しない。

振り返る4点

- 品質と公開後の反応
- 社内工数と確認待ち
- 外部へ任せた理由の変化
- 社内に残せた手順と学び

習熟度や制作条件が変わったら、内製範囲と外注範囲を見直します。

経験に合わせて、無理のない制作体制を育てましょう。

抱え込まず、**目的を実現**できる体制へ。

今日決める5つ

技術的に
難しい工程

失敗時の
影響と確認者

社内に残す
判断

外部へ相談
する範囲

公開を止める
条件

ショート動画屋さんの内製化支援では、**貴社に合う役割・手順・改善方法**を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する